

令和4年9月21日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和4年9月21日(水)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和4年9月21日(水)
午後1時53分
- 3 招集の場所 市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース
- 4 出席委員の氏名 廣 田 康 男
塩 見 佳 扶 子
和 田 大 顕
加 藤 由 美
織 田 信 夫

5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの

教育部長	伊 藤 信 夫
教育委員会事務局理事	足 立 高 広
次長兼教育総務課長	垣 谷 敏 数
次長兼学校教育課長	八 瀬 正 雄
学校教育課担当課長兼教育総務課	八 板 嘉 展
学校教育課総括指導主事	新 井 敏 之
次長兼生涯学習課長兼中央公民館長	浅 田 久 子
中央公民館管理担当次長	荻 野 幹 雄
学校給食センター所長	村 瀬 勝 子
図書館長	山 路 智 子

6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者

次長兼教育総務課長	垣 谷 敏 数
-----------	---------

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

なし

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

廣田教育長が開会を宣告。

廣田教育長 次に、現在のところはありませんが、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 許可をさせていただきます。

2 前回会議録の承認

廣田教育長 前回の会議録については、異議ありませんでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 それでは、異議がなければ承認をお願いします。あとで会議録に署名をお願いしたいと思います。

3 教育長報告の要旨

廣田教育長から以下の報告がありました。

(1) 新型コロナウイルス感染症の状況

ア 感染状況

イ 対応の変更(別紙)

まずは、新型コロナウイルス感染の状況について報告します。ここ最近になって、児童生徒、教職員の感染者数は減ってきております。7月が小中学校合わせて244人、8月が473人とかなり多かったです。今月は、現在のところ181人となっております。ただ、2学期当初は、非常に多くの感染者数が報告されておりましたが、ここ最近3連休明けも減ってきておりますので、感染が収まりかけている状況にあるのかと感じております。

そういった中で、文部科学省が公立学校を対象に9月1日時点の臨時休業の状況調査をしておりまして、全国の小学校で学年学級閉鎖の対応をしているのが2.4%でありました。前回調査が7月13日にありまして、それよりマイナス6.6%の値となっております。中学校は、9月1日現在で1.5%となっており、こちらも7月と比べてマイナス4.7%と全国的に減少しているとは言えると思います。ただ、京都府に関しましては、9月1日現在で、小学校は、11校で学年学級閉鎖をしており、率にして3.2%となっております。中学校は、9校で5.6%となっており、9月1日時点で言いますと京都府は全国より多い傾向だったことが分かります。

次に、対応の変更ということで別紙に資料を添付しておりますが、教育委員会から9月1日付けと9月9日付けの文書を保護者向けに配付しております。

9月1日付けの文書は大きく2点ありまして、1点目は、これまでもお話しておりましたように、家族等が感染したときの所謂待機期間の短縮についてです。2点目は、保護者から学校への電話連絡について、平日は18時まで、土日祝日については、休日明けに連絡をお願いしますということをお伝えしました。

9月9日付けの文書につきましては、皆さんももう新聞等で御存じだと思いますが、

感染した場合の療養期間が発症日から10日間だったのが7日間に短縮されたことについてです。また、検査キット等で検査をすれば、さらに短縮することも可能となる通知を教育委員会から学校を通じて保護者の皆さんにさせていただきました。9月9日付けの通知につきましては、厚生労働大臣の会見後すぐに適用するというので、少し慌ただしくなりましたが、特に大きな混乱もなく対応できております。

資料にはありませんが、市役所の対応も来週から変更されます。学校の教職員を含む職員に感染があった場合、これまで報道発表と市ホームページの掲載をしておりましたが、業務を一時的に停止する場合や施設・職場等でクラスターが発生した場合、つまり市民生活に影響を及ぼすと考えられるときに限定して発表するということになりました。これまで新聞に何人感染と載っていたものが載らなくなると御理解いただいたらと思います。

また、本日福知山市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開かれます。これは本で行われる京都府の対策本部会議を受けて開催されるもので、恐らく全数把握の見直しといったことが出てくるのではないかとはいえます。

新型コロナウイルス感染症の状況については以上ですが、御質問はありませんか。

全委員 特になし。

(2) 令和4年 市議会第3回定例会一般質問（9月8日～9月12日）

9月8日(木)

足立治之 議員

【質問の事項】

ベルマーク運動に対する本市の考え方について

【質問の要旨】

昨今、ベルマーク運動が下火になっていると聞いている。現在、本市でベルマーク運動を継続されている小学校や団体は。

(答弁)

- ・ 現在、本市でベルマーク運動に取り組んでいる市立学校は、小学校3校、中学校2校となっている。
- ・ 団体としては、福知山市SDGsパートナー団体でもある「ベルつながりの会」が中心となり、地域の実情に合わせ、市内10館の地域公民館を拠点にベルマーク回収箱を設置するなど、地域の協力を得ながら、取り組まれている。

【2回目以降】

【質問の要旨】

ベルマーク運動が低調である原因は。

(答弁)

- ・ ベルマーク運動は、PTA活動の一つとして取り組まれ、学校で使用する備品等の購入に役立てられている。しかし、仕分け・集計作業において、保護者や教職員の負担が大きいことから、以前と比べ低調となったと考えられる。

【質問の要旨】

ベルマーク運動は、SDGs、子ども達への教育的観点から考えても有効な手段では。

(答弁)

- ・ ベルマーク運動は、SDGsの4番目の目標「質の高い教育をみんなに」と繋がっているとされている。
- ・ 学校教育法では、小中学校等において、ボランティア活動など、社会奉仕体験活動の充実に努めることとされている。
- ・ このような点から、誰でもできるボランティア活動として、ベルマークを集める

ことが、自分達の学校の備品を購入するためだけではなく、災害被災校やへき地の学校、特別支援学校、また、アジアの子ども達を助けるNPOへの支援等に、教育的観点からつながるものと認識している。

【質問の要旨】

本市において、ベルマーク収集200万点を目指すことは可能か。

(答弁)

- ・ ベルマーク運動に取り組んでいる学校、団体が少ないのが現状である。
- ・ まずは運動の意義を広く伝え、理解を促す取組が重要であると考えます。

【質問の要旨】

本市の現状は、教育的チャンス並びに教育備品購入のチャンスを逃しているのでは。

(答弁)

- ・ 先ほど申し上げたとおり、ベルマーク運動については、仕分けや集計作業について労力がある中、取り組まれている団体もあり、ベルマーク運動が活用できる機会を引き続き研究してまいりたい。

【質問の要旨】

ウェブベルマークについての見解は。

(答弁)

- ・ ウェブベルマークは、ネットショッピングの際に協賛企業のサイトで買物をする、支援金や指定した学校にベルマークポイントがたまる仕組みである。ベルマーク運動が低調の理由に、ベルマークの集計等、保護者や教職員の負担が大きいことを挙げたが、このウェブベルマークの導入により、負担軽減につながるのではないかと考える。

【質問の要旨】

ウェブベルマークの仕組みをPTAや企業・市民・成人となる若者等に情報提供することで、ベルマーク運動の協力者が増えるのでは。今後の市の取組については。

(答弁)

- ・ ネットショッピング利用者増加の背景や、気軽に参加できる点から、ウェブベルマークのメリットが理解されれば、多くの層から協力が得られるものと期待されている。
- ・ 市としては、運動の意義とウェブベルマーク等、新たなしくみについて、市民への周知等に努めていきたい。

森下賢司 議員

【質問の事項】

これからの学校プールのあり方は

学校プールの維持管理や水泳学習のあり方への考え方などを問う。

【質問の要旨】

学校プールで水泳学習や地域開放が行われているが施設の老朽化や少子化等でプールの維持管理や水泳学習のあり方も変換期にあると思う。今夏の外部指導のモデル事業や、今後新温水プール整備計画もある。そこで、夏季水泳学習時期の学校プールの必要経費はどれくらいか。経費の全体額と1校平均の経費を教えてください。

(答弁)

- ・ 市立小学校14校の水道料、電気代、薬品費、ポンプ設備やろ過装置の管理、点検業務等の経費としての合計は、年間約1,230万円、1校平均では、約88万円が経費としてかかっている。
- ・ また、年によって異なるが、ポンプ機器や配管設備の修繕料として、市全体では1年あたり平均で、約200万円の経費を要している。

【2回目以降】

【質問の要旨】

それらは、学校の規模によって大きな差異はないのか。あるとすれば、経費の大きいところと小さいところでそれぞれどれくらいか。

(答弁)

- ・ 学校の規模によるプール容積の差や、児童数の違いにより、学校ごとに水道料などの経常的経費が異なっている。
- ・ 児童数500人以上の学校で、約150万円、100人未満の学校で、約50万円の経費が必要となっている。

【質問の要旨】

②夏季休暇中、地域に開放されているプールの運営状況はどうか。利用があるのか。

(答弁)

- ・ 近年の酷暑やゲリラ豪雨も影響し、運営の難しさから、地域住民に一般開放しているプールは、以前と比べ減少している。
- ・ 令和2年の夏以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により夏季休業中のプールの一般開放は行っていないが、コロナ禍前には、地域住民に開放していたプールもある。
- ・ コロナ禍前の令和元年度のプールの運営及び利用状況を見ると、地域住民に一般開放を実施していないプールは、14校のうち8校と増加してきており、開放しているプールについても、利用者は年々減少傾向にある。

【質問の要旨】

大江小で水泳指導外部委託のモデル事業が行われているが、結果や評価、保護者や児童の声はいかがか。

(答弁)

- ・ 今年度モデル事業として、大江小学校を対象に、市温水プールで7月と9月に実施しているところである。
- ・ 本事業の主な成果として、次の点が挙げられる。
- ・ 1つ目には、屋内の温水プールを使用することで、気温や天候に左右されず水泳指導を実施することができ、1学期中という従来の水泳指導の実施期間にとらわれることなく、2学期以降にも計画を組むことが可能となる。
- ・ 2つ目には、水泳のインストラクターによる専門的で、よりきめ細かな指導を子どもたちが受けられ、技能の向上が期待できるとともに、教員にとっても専門的な指導のノウハウを学ぶ機会となっている。
- ・ 3つ目には、教員もプールサイドから指導のサポートを行うと同時に、水泳学習の評価を随時行うことができる。
- ・ 4つ目には、ポンプ等の機器や水質の管理など、授業実施までに必要な管理業務を行う必要がなくなり、教職員の負担軽減につながっていることなどがあげられ、多くの評価できる点があった。
- ・ また、実際に指導を受けた児童の声としては、「丁寧に教えてもらって泳げるようになった」や「泳ぐことが好きになった」、「顔を水につけられるようになったのでとてもうれしかった」などインストラクターの専門的な指導による効果が実感できる声が多く聞かれた。
- ・ さらに、保護者からは、「子どもが楽しそうで本当に良かった。」という意見がたくさん聞かれた。中には「水に顔をつけるのを怖がっていた子どもが『泳げた。』と嬉しそうに言っていた。親としてもうれしかった。」などの声が聞かれ、高い評価を得ているところである。

【質問の要旨】

今夏のモデル事業を受け、外部委託し水泳学習を行うにあたっての課題は何かあるのか。

(答弁)

- ・ 水泳学習の委託については、現在のところ良好な結果が得られていると考えている。
- ・ 今後この事業を拡大していくには、1日に可能な指導時間数、児童数や学校数による実施スケジュールの確保、学校とプール間の移動に係る時間や手段などが課題である。

【質問の要旨】

新温水プールができれば、水泳学習にも通年利用できる。専門的な指導をする上でも外部委託の拡大や通年化し、いずれは、学校プール施設の存続可否の検討をすべき時期になるのではないかと考えるが、どうか。また、今後の水泳学習の方向性は。

(答弁)

- ・ 現在のプール施設のほとんどが建設から約50年程度経過しており、年々ポンプや配管修繕等を必要とする場合が増加してきている。
- ・ 学校プールの存続については、プール施設としての耐用年数、大規模改修費用の問題等もある中で、今後外部委託実施対象校を拡大する段階で、存続に係る影響や課題を精査し、検討していきたいと考えている。
- ・ 今後の水泳学習の方向性としては、今年度大江小学校をモデル校として事業を実施し、先程述べたような成果を得ている。
- ・ 本市のホームページにも記載していますが、来年度には様々な規模の学校で実施することや実施期間を拡大し、段階的にさらなる事業の拡大を進める方向で考えている。
- ・ 本事業を通して、質の高い水泳指導により、児童の水難事故から「命を守る」という能力を確実に育むとともに、泳力の向上を図り、更には、気温や天候に左右されない安心安全な水泳学習の場の拡充を図っていきたいと考えている。

大谷洋介 議員

【質問の事項】

中学校短期留学事業について

【質問の要旨】

本事業を行う背景や目的は。

(答弁)

- ・ グローバル化が進展する社会において、人材育成の一つとして短期留学を実施することにより、次代を担う本市中学生に、広い視野と国際感覚を持ち、新たな価値観や多様性を受け入れ、未来を切り拓く力を醸成するものである。国際交流を通じて自らの成長を後押しし、新たな次のステップに挑戦する契機とすることを目的としている。
- ・ さらに、将来的に地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成へとつながることも期待している。

【2回目以降】

【質問の要旨】

本年度の取組内容は。

(答弁)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、海外留学に替えて国内留学を行った。
- ・ 国内でも異文化の体験ができる施設・環境が豊富な長崎県において、2泊3日の短期集中型のプログラムを実施した。
- ・ 語学の勉強はもちろん、その土地ならではの文化や自然、アクティビティも体験できるよう工夫を行うとともに、積極的に市内の生徒同士が交流できる機会とした。
- ・ さらに効果を上げるため、事前学習では異文化理解やコミュニケーションのポイントについて学習した。留学後には留学生徒全員参加のもと、報告会を実施し、外

国人と英語での交流を通じて感じた事や学んだ事など、3日間を振り返り、研修の成果を発表した。

【質問の要旨】

本年度の短期留学の生徒をどのように選考したのか。

(答弁)

- ・ 留学の申込みは生徒の自発的な行動を促すために学校推薦ではなく、関心がある生徒が自ら教育委員会へ申込む方式とした。
- ・ 定員の15名の枠に対して、27名の申し込みがあり、1次選考は書類審査、2次選考は作文・面接を行い、留学生を決定した。
- ・ 最終選考結果は、府立、私立、市立の中学校の計6校から15名である。

【質問の要旨】

本年度の短期留学事業の成果は。また、見えてきた課題があれば聞きたい。

(答弁)

- ・ 国内での留学体験であったが、充実したプログラムにより語学や異文化体験を行い、有意義な国内留学となった。また、参加した生徒や保護者からも高い評価を頂いた。
- ・ 具体的には、短期間ではあったが、英語漬けのグローバルな環境下において、多くの外国人との交流の中で、「英語が話せないという意識が変わった」「異文化に触れ、理解する機会となった」など留学後の報告会でそれぞれの生徒が、成果を発表した。
- ・ 課題をあげるとすれば、1つには、2泊3日と短期間であること、2つ目には、留学の成果が一過性にならないよう、留学後も継続した取組が必要なことである。
- ・ さらに高い成果を上げるには、言葉も文化も違う海外において、留学日数・期間を増やして実施する必要があると考えている。

【質問の要旨】

短期留学事業を来年度以降どのように取組んでいくのか。

(答弁)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえての対応になるが、来年度以降は本事業の当初の企画・計画どおりに海外留学を実施したいと考えている。
- ・ 内容としては、事前、事後の学習会や現地の学校での研修など、福知山市ならではのオリジナリティを持った留学プログラムを実施していきたい。
- ・ そのためにも、8月に実施した国内留学の結果を踏まえて、来年度の海外留学に活かしていきたい。
- ・ 来年度の海外留学は、定員を本年度と同じ15名とし、期間は約10日間、時期は8月を予定している。留学先はカナダかオーストラリアを検討している。

9月12日(月)

中村初代 議員

【質問の事項】

ごみ減量化に向けて

【2回目以降】

【質問の要旨】

ごみの減量化という点では、学校給食などの公的施設からまとまって出る食品廃棄物の肥料化・堆肥化などの有効活用について、工夫の凝らした取り組みを進めることが大事である。給食センターでは、毎日6,700食の給食を提供しているが、災害などの理由で急に休みになった場合の食材はどのようにしているのか。

(答弁)

- ・ 天候の悪化などで急に学校が休みになり、給食を提供しない場合、食材は既に学校給食センターに届いている。

- ・ 肉など1回解凍したものは処分せざるを得ないが、日持ちする食材は翌日の献立メニューに活用したり、メニューを変更して食材を無駄にしないように努めている。

【質問の要旨】

調理の際に出てくる野菜のヘタや皮などはどのように処理されているのか。肥料化や堆肥化などの有効活用について検討されているか。

(答弁)

- ・ 野菜のヘタや皮などは、粉碎・脱水処理後、廃棄処分している。
- ・ 肥料化や堆肥化などの有効活用については、生ごみの排出量の削減や資源循環システムの構築等あらゆる角度から今後の検討課題として研究していきたい。

続きまして、9月の市議会第3回定例会一般質問について報告いたします。今回は4名の議員の方より御質問がありました。

まず1人目は、9月8日に足立治之議員からベルマーク運動に対する本市の考え方について、ベルマーク運動の現状、それから、他市の事例を基に推進を奨励してはどうかという内容で質問がありました。私も今回初めて知ったのですが、ウェブベルマークという新しい仕組みもできておまして、そういったことに対しての御質問でありました。ベルマーク運動につきましては、一時期に比べると現在は下火になっております。小学校で3校、中学校で2校が取り組んでいるという現状です。団体としては、ベルつながりの会という組織が中心となり、活動されているということです。教育委員会としては、さらに奨励していくというよりは、ウェブベルマークのような新たな仕組みについて、何らかの機会に周知をしていくことで対応をしていこうと考えております。

続きまして、2人目は、森下議員よりこれからの学校プールのあり方について御質問がありました。従来小学校で行うプールの経費や修繕料について、それから、今年度より始めました大江小学校の水泳指導外部委託モデル事業の成果と課題、そして、今後の方向性について御質問がありました。経費等については、実績をお答えしました。大江小学校のモデル事業の成果については、気温や天候に左右されずに行えたことやインストラクターによる専門的で細かな指導が非常に好評であったことを答えております。これは子どもたち、そして保護者の方からもそういう声が聞かれたことを御報告させていただきました。課題としましては、1日に可能な指導時間数であったり、今後、実施校を拡大していくに当たっての実施スケジュールであったり、それから、学校とプールの移動にかかる時間や手段が課題になっているということをお答えしております。今後の水泳学習の方向性につきましては、来年度には様々な規模の学校で実施することや、実施期間を拡大し、段階的に事業の拡大を進める方向で考えていますとお答えしております。

3人目は、大谷議員でございます。質問内容は、中学校短期留学事業について、その目的や内容、今年の実施をした中での成果と課題、そして、来年度の方向性について御質問がありました。成果としては、充実したプログラムで語学や異文化体験ができて、非常に有意義であったということ、課題としては、今年度国内留学だったということもあり2泊3日と短期間であったこと、一過性にならないように留学後も継続した取組が必要ということをお答えしております。そして、来年度以降につきましては、留学先をカナダかオーストラリアとし、定員を今年と同じ15名、期間を約10日間ということで予定しているとお答えしております。

最後に4人目は、中村議員からごみ減量化に向けてという御質問で、その中で関連して、給食センターの対応について御質問がありました。内容としては、災害などの理由で、急に休みになった場合、給食センターで食材をどうしているか、また、野菜のヘタや皮などどのように処理されているか、所謂肥料化や堆肥化などの有効利用はどうかという御質問でした。急な休みになった場合の対応については、日もちする食材を翌日等の献立メニューに活用したりしていることをお答えしました。肥料化等の有効活用につ

いては、今後の検討課題として研究をしていきたいとお答えしております。

以上が、定例会一般質問の概要ということで御報告をさせていただきましたが、御質問等ありませんか。

全委員 特になし。

(3) 教育情報

ア 教員の意識に関する調査2022（ジブラルタ生命調べ）

（ア）調査対象 20歳から69歳の教員2000名（男女各1000名）

（イ）主な調査結果

「教員になりたいと思った理由」

1位 尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから 36.9%

「教員としてどのようなときにやりがいを感じるか」

1位 児童生徒の成長が感じられたとき 79.4%

「生まれ変わったら就きたい職業」

1位 教員 17.8%

イ 生徒指導提要の改訂案

1 2年ぶりの改訂 小中学校や高校教職員向けの生徒指導の手引き

2 部構成 「生徒指導の基本的な進め方」

「個別の課題に関する児童生徒への対応」

続きましては、教育情報として2点御報告いたします。

1点目は、「教員の意識に関する調査2022」についてで、ジブラルタ生命が20歳から69歳の教員2,000名を対象にして行った結果から興味深いものを少し御紹介します。まず、「教員になりたいと思った理由」という設問への回答の1位に尊敬する教員・憧れる教員に出会ったからが36.9%ありました。次に、「教員としてどのようなときにやりがいを感じるか」という設問への答えとして、1位が児童生徒の成長が感じられたときで79.4%でした。「生まれ変わったら就きたい職業」も、1位は教員で17.8%であったという結果になっております。

教員になりたい理由、或いはやりがいを感じるときについては、なるほどと思うところもあるわけですが、生まれ変わったら就きたい職業として17.8%が教員と答えている点は、ほかの職業を選ばず、また教員になりたいという先生たちのやりがいと言えますか、その結果ではないかと思っております。

実は、中央教育審議会の「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会というところで、中間まとめの資料があり、その中で教職課程のある大学の学生に対して、卒業後教員になる者が最初に目指した時期がいつかという調査がありました。結果としては、目指した時期が幼児、小学生、中学生で大体60%を超え、早い時期に目指す割合が高いという結果が出ております。現在、教員のなり手が少ないということもある中で、先ほどの教員の調査結果、或いは教職を目指した学生への調査を見ると、小中学校の先生が潑刺颯爽とした憧れの存在であり、尊敬する存在であるということが大事だということを改めて感じております。

続きまして2点目は、生徒指導提要が12年ぶりに改訂されることになっております。この提要は、小中学校や高校教職員向けの生徒指導の手引きというものになっております。2部構成でありまして、1部が生徒指導の基本的な進め方、もう1部が個別の課題に関する児童生徒への対応という内容になっており、いじめであったり非行であったり、そういったテーマごとの対応について記されております。

今回の改訂の特徴としましては、子どもの権利条約やこども基本法の趣旨を提要の中に明記し、最近よく新聞に出ておりますが、校則についても触れられております。また、

小学校での活用を促進するようなことも言われておりますが、今はまだ案の状態です。間もなく改訂ということで、今回はデジタル化され、どなたでも文部科学省のホームページから見るができるようになっております。

教育情報としては以上2点でございます。御質問、御意見はありませんか。

和田委員 御報告いただいた中の教員の意識調査で随分心強く感じさせていただいたところですが、本市の先生方で精神的に、また体力的に体調不良を訴えておられる先生は、どれぐらいいらっしゃいますか。分かったら教えていただきたいです。

八瀬次長兼学校教育課長

今、手元に数値データを持っておりませんので、正確な割合は出せませんが、何人か体調不良とメンタル面の不調でお休みされている先生がおられ、人数としては、今年度10人はいかない程度だったと思います。

和田委員 メンタル面で調子の悪い先生は、恐らく自分の描いていた教師像と実際の姿が少し違っていただろうと想像をすることでありますが、お休みされている先生方への手当、フォローはどうされていますか。

八瀬次長兼学校教育課長

まず、未然防止のため、月々の勤務時間が非常に長い先生方につきましては、医師の面接を受けていただいたりしながら、その中で、業務上、或いは私生活も含めた悩みがありましたら、お知らせいただくようにしております。病気になられて、中でもメンタル面の不調でお休みされている場合につきましては、定期的な健診、医師へのカウンセリング等を受けていただきながら、状況について逐一把握をしております。

和田委員 子どもたちに教育をする先生方ですので、大事に育てていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

廣田教育長 ほかに御質問等ありますでしょうか。

織田委員 和田委員さんの質問に関連しての質問です。民間企業ですと毎年1回は、メンタルヘルスチェックをしないといけません。学校の教職員の方々には、そういったアンケート調査をされておられますか。

八瀬次長兼学校教育課長

メンタルヘルスチェックも含めてですが、教員の先生方へのアンケートについては、これまで実施できておりませんでした。今年度より実施する予定にしております。10月ないしは11月に実施する予定にしております。

教員それぞれが自身の健康についてアンケートを答えた中で、自身では分からないこともアンケートによって分かることができると聞いております。そのアンケート結果については、管理職がそれぞれの教員の状況を把握できるような形で学校長等に返していきたいと思っております。

廣田教育長 ほかに御質問等ありますでしょうか。

全委員 特になし。

廣田教育長 本日は決議事項がありませんので、報告・説明事項の教育長決裁による後援承認事項について説明をお願いします。

4 報告・説明事項

(1) 教育長決裁による後援承認事項について

小笠原教育総務課長補佐兼企画管理係長 ～資料に基づき報告～

No.20 親子手話教室

No.21 第59回全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 京都府大会
第52回近畿小学校家庭科教育研究会 京都大会

No.22 福知山かるたWAVE

No.23 劇団風の子関西30周年記念公演「風の少年シナド」

No.24 市民憲章運動推進第56回全国大会福知山大会

No.25 第30回やくの高原まつり

No.26 第36回ソフトテニス日本実業団リーグ

No.27 第52回少年少女柔道剣道大会

廣田教育長 後援承認について御質問や御意見がありましたらお願いします。

全委員 特になし。

5 閉会

廣田教育長が閉会を宣言。